



# 学校だより 第16号

令和3年 12月 24日  
新宿区立新宿西戸山中学校  
校長 佐藤 浩  
副校長 多久 明知

「参画」の二学期、コロナ禍の中、生徒は、精一杯日々の学習活動に取り組み、大きく成長しました

校長 佐藤 浩

新宿西戸山中学校では、二学期を教育目標の「参画」に重点を置く学期とし、生徒が参画し活躍できる様々な機会と場を設定しています。生徒は自分で参画するものを選び、それぞれが懸命に取り組んでいます。

今年、大きな行事である開校十周年記念式典や学芸発表会をはじめ、生徒会や委員会活動、鎌倉校外学習や美術館見学などの学年行事、部活動の新人大会やコンクール、区陸上大会や駅伝大会、そして、作文や絵画などの各種コンクールなど、たくさんのお機会、場がありました。多くの生徒が、積極的にチャレンジし、それぞれ成果を残してくれました。こうした本校生徒の姿勢は、校内はもちろんですが、対外的にも多くの方々から、様々な場面で評価され、お褒めの言葉もたくさんいただいています。校長として大変うれしく思っています。

一年生は、二学期の四か月間ですっかりと学校生活に慣れ、中学生としての振る舞いができるようになりました。まだまだ成長の途中ですが、集団活動を通して、学年としての規律も定着しつつあります。また、相互理解学習の様々な体験を通して、人を思いやる心や共に生きていこうとする態度も少しずつ育まれ、成長することができました。陸上や駅伝大会、部活動の大会では、一年生も活躍しました。

二年生は、生徒会活動や部活動など、活動の中心が三年生から移ってきました。重要な役割を担う二学期の学校生活において、様々なことにチャレンジし、大きな力を発揮しました。特に、中学校入学後初めて取り組む校外学習では、全班が最後まで規律正しく計画通りに行動することができ、学年集団として大きく成長した姿を見せてくれました。私も一日を共にしましたが、大成功の校外学習であったと高く評価しています。

三年生は、二年ぶりに実施できた全校朝会や学芸発表会など、全校生徒で取り組む行事では、最上級生としての力を発揮し、模範となる姿を下級生にしっかりと示してくれました。改めて三年生の存在の大きさを感じました。また、進路選択の過程はとも厳しく、不安も大きかったと思いますが、そのような中でも、くじけることなく、担任の先生の支援を受けながらも、自らの力で進路を選び、前に進むことができました。さらに受験に向けた意識も徐々に高まり、学習にも真剣に取り組むことができました。特に三年生は、人として大きく成長してくれたと実感しています。

家庭でも、お子様と一緒に二学期を振り返ってください。お子様の成長した姿を見つけ、その努力の成果を認め評価するとともに、課題についても必ず挙げ、その克服のために、自分のどこをどのように変えていくのか、具体的な行動目標や新年の抱負まで含めて、じっくりと話し合っていただいたいと思います。そうすることで、お子様はさらに成長し、二〇二二年を一層充実させることができるものと思います。学校と家庭が連携を密にしながら、生徒の挑戦を支援していきたいと思っておりますので、引き続き御協力の程をよろしく願います。

## コロナ禍をあえてプラスに考え、学習に集中して取り組んでみましょう！

3年生は、受験に向けてカウントダウンが始まっています。3年生の廊下に入試までの日数が表示されていますが、都立推薦まで34日、都立一般まで60日とあります。今、頑張るしかありません。決して後悔することのないよう、やるべき時に、やるべきことを、しっかりとやっていきましょう。

1・2年生は、部活動や習い事、家庭でのお手伝いなどに一生懸命に取り組むことはもちろんですが、冬休み明けの1月12日(水)に行われる新宿区学力調査に向けた学習にも真剣に取り組んで欲しいと思います。区学力調査は、一人ひとりの学力定着度が、区全体の中でどのような状況にあるのか、客観的なデータを基に示してくれる唯一の調査で、年に一度の貴重な機会にもなります。2年生は来年、1年生は再来年、3年生と同じ様に、大半が受験に立ち向かっていくこととなりますが、その受験を想定した事前の貴重な体験の場・機会となります。ぜひ、定期考査と同様に、学習計画をしっかりと立て、一日一日確実に取り組んでいってください。

それぞれ目標は異なりますが、努力の積み重ねはいずれ成果として表れます。このことを信じて、今、やるべきことに最大限の努力をして欲しいと願っています。一人ひとりの頑張りを期待しています。

## 1年生が桜美林大学の学生からSDGsの取組について教えていただきました！

12月10日（金）、地域の百人町3丁目にある桜美林大学の学生を招き、1年生の相互理解学習の一つの取組として、学級毎に「SDGsについて考えるワークショップ」を実施しました。このワークショップは、今年度初めて、桜美林大学との連携事業として実施する取組であり、本校の生徒にとっては、とても貴重な経験となりました。このワークショップは、

- (1) SDGsの取組について知ること
- (2) 年齢の若いうちから社会の課題について考えることを通して、問題についての主体意識を早い段階から育むこと
- (3) SDGsについて学ぶことを通して、持続可能な社会を真に実現することにつなげることの3つを目的としています。

大学生との交流体験は、本校の開校以来初めてのことであり、テーマも生徒会活動として現在取り組んでいる「SDGs」であることから、生徒は最初から最後まで意欲的に取り組んでいました。大学生のクイズ形式での説明を受けた後、グループで貧困問題、飢餓問題などのテーマを選び、解決策などについて真剣に話し合い、それぞれの解決策を発表しました。SDGsの理解を一層深めることができたようでした。とても貴重な体験であり、充実した一日となりました。桜美林大学の学生の皆さん、ありがとうございました。



## 様々なコンクールで賞をいただきました！ おめでとう！！

生徒が積極的にチャレンジしたことの一つとして、各種コンクールがあります。こうした取組でも、本校生徒は優れた結果を残すことができました。

12月には、全国中学生人権作文コンテスト、新宿区読書感想文、新宿区平和のポスター展、新宿区「ごみ減量絵画」コンクールなどの表彰がありました。作文や感想文、絵画で賞をもらうということは、とても難しいことです。そうした中で、各種の賞を受賞する本校生徒の才能は素晴らしい限りです。心から敬意を表します。おめでとう！

それでは、表彰者を紹介します。

### ◎全国中学生人権作文コンテスト東京都大会

「奨励賞」 2年B組 Aさん

### ◎新宿区読書感想文コンクール

「優良賞」 3年C組 Cさん

### ◎新宿区平和のポスター展

「最優秀賞」 3年A組 Dさん

「優秀賞」 3年C組 Eさん

「優秀賞」 3年C組 Fさん

「優良賞」 3年A組 Gさん

### ◎新宿区「ごみ減量絵画」コンクール

四谷清掃協力会 会長賞 2年B組 Hさん

牛込清掃協力会 会長賞 1年C組 Iさん

四谷清掃協力会 努力賞 2年D組 Jさん

四谷清掃協力会 努力賞 1年E組 Kさん

牛込清掃協力会 努力賞 1年D組 Lさん

新宿西清掃協力会会長賞 2年D組 Mさん

平和のつどいに参加するDさん



平和ポスター展：Dさんの作品